

川の市民情報

2015年

12

国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所 RCM事務局 URL : <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
TEL : 045-503-4015 FAX : 045-503-4092 メール / keihia50@ktr.mlit.go.jp

リバーシビックマネージャー(RCM) : 住民のボランティア活動の一環として、河川管理の支援をしていただくことを目的に創設された制度です

水質事故対策の取組

関東地方水質汚濁対策連絡協議会多摩川・鶴見川・相模川部会(構成メンバー:東京都、神奈川県、山梨県、横浜市、川崎市、相模原市、八王子市、町田市及び国土交通省)では、多摩川、鶴見川、相模川水系の水質事故の発生状況、防止対策の共有、連絡体制の確認等を行うとともに、関係機関との連携を強化することを目的として、毎年会議及び水質事故対策訓練を行っています。

今年度も11月27日に部会会議及び水質事故対策訓練を行いました。

■多摩川・鶴見川・相模川部会

多摩川・鶴見川・相模川部会を開催(構成メンバー+藤沢市オブザーバー)し、水質事故対策(水質事故概要、連絡体制等)等について、資料の報告と意見の交換を行いました。

■水質事故対策訓練

水質事故対策訓練は、鶴見川多目的遊水地の減勢池において、水質事故対応への知識や技術の向上を図る事を目的として、鶴見川にて油類が流出したことを想定し、流出拡大を防ぐためのオイルフェンスの展張(斜め展張)及びオイルマット(万国旗型)の敷設、そして化学物質等が河川へ流出したことを想定した原因物質を特定するための簡易水質測定訓練を行いました。



オイルフェンス展張・オイルマット敷設訓練状況

簡易水質測定訓練状況

相模川流砂系総合土砂管理計画を策定

(H27. 11. 11 公表)

相模川では、ダムなどにおいて、土砂の堆積が進む一方、河川や海岸においては、昭和30年代までに行われた砂利採取の影響もあり、河床の局所的な低下や砂浜の侵食など、様々な課題が顕在化して来しました。

こうした課題に対し、土砂発生域、ダム、河道域、河口・海岸域の関係者が連携して、各領域の特性を踏まえた災害防止、生態系・景観等の環境保全、適正な利活用など、総合的な土砂管理を推進するため、「相模川流砂系総合土砂管理計画」を国、神奈川県、山梨県の関係機関で構成する「相模川流砂系総合土砂管理推進協議会」において策定しました。

現状と課題

土砂発生域では

・深層崩壊による土石流の発生など、土砂災害が発生する可能性がある

ダムでは

・ダム集水範囲が流域面積の約8割を占め、多くの土砂がダムに堆積している
・相模ダムでは継続的な浚渫が必要

河道域では

・河道横断工作物での縦断的な土砂移動の不連続、河道の二極化や樹林化、土丹の露出等が生じている
・ダム等による流況の変化により水生生物の生育環境の変化や礫河原の減少が生じている
・礫部頭首工・床止めでは河道の深掘れが進行

河口・海岸域では

・相模川からの供給土砂量が減少し、海岸汀線の後退等が生じている
・養浜等を実施しているが、現在でも柳島地区では汀線後退の傾向にある
・ダムで多くの海岸構成材料が捕捉され、自然の力では河口への土砂供給増加は見込めない

重点課題①茅ヶ崎海岸(柳島地区)の侵食防止

→対策/相模ダム等の堆積土砂の河道域への還元量の増加
茅ヶ崎海岸(柳島地区)への相模ダム堆積土砂による養浜河道域への土砂還元量の目標設定
(河口域周辺の土砂動態モニタリングの解明)
より効果的な土砂還元手法及び実施の検討

重点課題②河道内の土砂移動などの極端な不連続性の是正

→対策/礫部頭首工、礫部床止めの改築
海岸構成材料の移動阻害の緩和
(相模ダム等の堆積土砂の河道域への還元)

流砂系で連携し実施するその他の対策

- ①相模湾有数の河口干潟環境の保全
→モニタリングによる状況確認
- ②魚類等の水生動物の生息場の保全
→モニタリングによる状況確認
- ③河原系植物の生育に適した礫河原の保全・回復
→二極化箇所での河床整正及び樹林化対策
三川合流地点周辺の土丹被覆
カワラノギク等が自生するような環境の保全・再生
- ④山間溪流環境の保全
→砂防堰堤の整備

フォローアップ

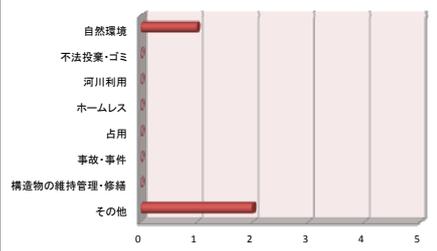
協議会、検討会を年1回程度の頻度で実施
必要に応じて、本計画の再確認・見直しの検討

詳細は京浜河川事務所HPをご覧ください

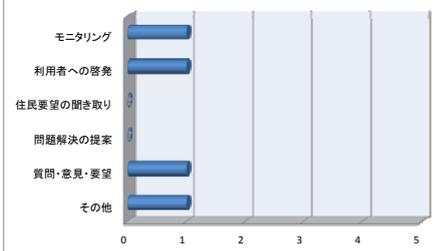
→ <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin00602.html>

平成27年11月は、3件の報告をいただきました。ありがとうございました。

対象分野



連絡内容



管 轄 区 間	登録人数	報告人数	報告件数
鶴見川下流	6人	0人	0件
鶴見川上流	6人	0人	0件
多摩川下流	7人	0人	0件
多摩川中流	9人	1人	1件
多摩川上流	3人	0人	0件
相模川	7人	0人	0件
浅川	8人	2人	2件
合 計	46人	3人	3件

11月のご報告より

一部内容を省略させていただいています。ご了承ください。

鶴見川下流分科会 石川様

河川利用に関する情報を頂きました。

【ご報告ありがとうございます】

多摩川中流分科会 福井様

「新宿駅西口の構内アナウンスを聞いて」

本日お昼頃、新宿駅を通りかかった時、ホームレス関連の禁止の構内アナウンス(男性)を聞きながら、「公共の皆様のためですから、段ボールなどを持ち込んで」というところを、そのとおりだと思いました。そして同時に、テレビの朝のワイドショーで、多摩川の下流のホームレスが勝手に畑を作ったり、ペット小屋を造って家も建てて「リバーサイドリッチ族」とマスコミが呼んでいることを思い出しました。台風がその放送から数個発生しましたが、水量がすごい時には本当にあのホームレスたちは、生命の危険がないのだろうか、人間として心配しました。行政の方々も悩ましいところだと思います。あと、何十年も河川敷の対処は時間がかかるかもしれません。人口が減って、空き屋が増えたり土地価格が下がれば、収容する手だてもあるかもしれません。彼らにきちんとしたマナーやモラルが備わることを願わずにはられません。国民の大半が必死に働いているのですから、わがままというレベルではなく「違法」です。

【これからも、自治体等と共同で対策に取り組んでまいります】

鶴見川上流分科会 大泉様

鶴見川上・下流を巡視してきたので報告します。

- 環状北線 堤防上ストックヤードの設置
 - 左岸 14.5 km付近／不法投棄自転車等のストック、河川内放棄の自転車もあり
 - ⇒整然としてすっきりしている。ご苦労様でした。
- 不法投棄ゴミの集積
 - 左岸 10.7 km／集積場所と思われるが9月5日ラベルのゴミもある
 - ⇒本日の範囲ではゴミが非常に少なくなっています
 - ⇒環境整備の成果が出ている
- 近隣ボランティアの活動
 - 早淵川 三歩野橋上流左岸／ここは草刈り範囲に入っていないので近隣の方が善意で除草を行っている(昨年も)
 - ⇒有難うございます
- 清々しい話題
 - 左岸 樽綱橋 下流／「皇帝ダリア」今が見頃
 - ⇒流域ではここだけで見られる。ぜひ一度見て下さい。
 - * 森永橋左岸での「堤防耐震対策」工事がまだ着工していませんでした



【写真付きでご報告頂きました。いつも分かりやすいご報告ありがとうございます】

RCMの皆様からのご報告お待ちしております！

※個別対応状況等は記載されていませんが、頂いた情報に個別に対応・所内情報共有させていただいています。



1日目:2016年1月9日(土)8:30~17:00
上小山田みつやせせらぎ公園・丸池~鴨居(約24km)

2日目:2016年1月16日(土)8:15~17:00
鴨居~生麦河口干潟(約20km)

事前申込制 各日それぞれ 先着50名まで

申込先:NPO 法人鶴見川流域ネットワーク
TEL:045-532-1179
(参加申込専用ダイヤル:平日10時~17時まで)
FAX:045-546-4344
E-mail:office@tr-net.gr.jp
詳細は↓
<http://www.tr-net.gr.jp/archives/7537>

※HP等で募集を開始していますので定員に達している場合もあります。ご了承下さい。

RCM事務局より

今年は比較的暖かな日が多い様に感じますが、急に寒くなったりする日もあり体調管理が大変ですね。風邪をひいている方も多いようですので、皆さん風邪をひかないよう気をつけて下さい。

今年も1年間大変お世話になりました。来年もよろしくお祈りします。

RCM事務局 山口